

お月見

お月さまがきれいな季節ですね！

今年の十五夜は9月22日です。

収穫を月に感謝する日でもあります。

ススキを飾ると、「一年間病気をしない」という言い伝えがあるそうです。

「お月見どろぼう」という日本版ハロウィンの風習があり、団子は多く盗まれたほうが縁起が良いとされ、玄関先などに団子をおいておく地方もあるそうです。子どもと一緒にお団子をつくってお月見の話をしながら、楽しみたいですね！



手作り白玉団子レシピ

材料（子ども4人分）

- ・白玉粉 80g・あんこ、きな粉 適量
- ・絹豆腐 80g（無くても良い）

①白玉粉と豆腐を混ぜ合わせ、水を適量に加え、耳たぶの硬さくらいの柔らかさにこねる。

②沸騰した湯に丸めた団子を入れる。浮いたら冷水に取り、冷めたら水を切る。お皿に盛り付け、お好みの量のあんこやきな粉をかける。

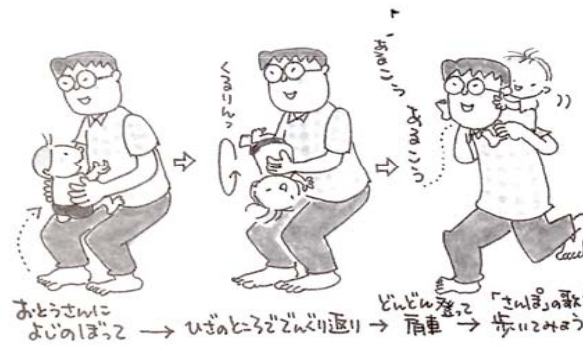
※絹豆腐を加えることでより滑らかな舌触りになります。

スポーツの秋

パパやママとたっぷりスキンシップがとれる運動遊びをご紹介します！



おとうさん木のぼり

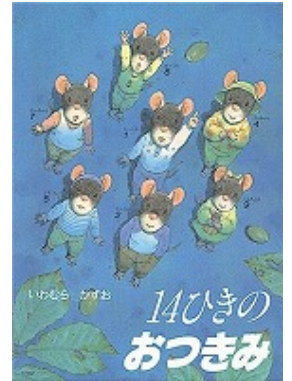


《ちいさいなかま9月号より掲載》

お月見絵本のご紹介

『14ひきのおつきみ』 作：いわむらかずお
出版社：童心社

兄弟が木にのぼってなにやら準備をしています。そう、今日はお月見。ツリーハウスのように木に枝を渡してお月見台を作ります。日が暮れたあと、家族そろって静かにお月見。おつきさん ありがとう、たくさんの みのりを ありがとう、やさしい ひかりを ありがとう。



『おつきみうさぎ』 文：中川ひろたか
絵：村上康成
出版社：童心社

お月見をするために野原にススキを採りに来た園のみんなは、金色に光る小さなウサギを見つめます。夜になってお月見を始めると、不思議なことに月にウサギがいません。そう、このウサギは間違っ落ちてきてしまった月のウサギでした。

